

- 問1 10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. ハングル —
『奥の細道』や『曽根崎心中』 | 2. カタカナ —
『徒然草』や『平家物語』 | 3. 万葉仮名 —
『万葉集』や『日本書紀』 | 4. かな文字 —
『源氏物語』や『枕草子』 |
|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
-
- 問2 平安時代後期に始まった、天皇が位を譲って退位した後も、その住まいにおいて「上皇」として政治の実権を握る体制を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 執権政治 | 3. 幕府政治 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問3 平安時代初期、僧の最澄は唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を広めました。彼が修行の拠点として比叡山に建立し、後に多くの高僧を輩出することになった寺院の名称と、その宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 真言宗・金剛峯寺 | 2. 時宗・清浄光寺 | 3. 浄土宗・知恩院 | 4. 天台宗・延暦寺 |
|-------------|------------|------------|------------|
-
- 問4 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 禅宗 | 2. 本地垂迹 | 3. 法華信仰 | 4. 浄土信仰 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問5 平安時代、最澄は唐から帰国した後に比叡山を拠点として天台宗を広めました。この時代に行われた仏教の動きについて、最澄と同時期に活躍した人物とその宗派の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 空海が、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた | 2. 日蓮が、法華経の教えを重んじて日蓮宗（法華宗）を開いた | 3. 親鸞が、浄土真宗（一向宗）を説いて民衆の救済を図った | 4. 一遍が、踊り念仏を通じて時宗を各地に広めた |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
-
- 問6 平安時代後期、白河天皇が幼少の皇子に位を譲った後、上皇として自ら政治を主導した体制を何と呼ぶか、名称として正しいものを書きなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 親政 | 3. 摂関政治 | 4. 武家政治 |
|-------|-------|---------|---------|
-
- 問7 保元の乱・平治の乱を勝ち抜いて武士として初めて太政大臣となり、大輪田泊（現在の神戸市）を整備して行われた貿易と、その中心人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 足利義満 — 日明貿易 | 2. 平清盛 — 日明貿易 | 3. 平清盛 — 日宋貿易 | 4. 源頼朝 — 日宋貿易 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
-
- 問8 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。 | 2. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。 | 3. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。 | 4. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。 |
|---|--|--|---|
-
- 問9 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わってから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 持統天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問10 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の後（きさき）とし、生まれた子を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇が幼少である期間に、その名代として政治を行う役職を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1. 摂政 | 2. 太政大臣 | 3. 征夷大將軍 | 4. 関白 |
|-------|---------|----------|-------|
-
- 問11 奈良時代末期、仏教勢力が政治に深く関与するようになった状況を打破し、天皇中心の政治を立て直す目的で行われた政治改革に関連する記述です。七百九十四年に都を山背国の平安京へと移し、新しい政治の刷新を図った天皇として正しいものを選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問12 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことで知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 | 2. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。 | 3. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 | 4. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
-
- 問13 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。 | 2. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。 | 3. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。 | 4. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。 |
|--|--|---|---|
-
- 問14 藤原氏が摂関政治を通じて長期間にわたり政治の実権を維持できた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 天皇の位を退いた後も、上皇として「院」から政治の指図を出し続けたから。 | 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を断ち、国内の貴族の支持を独自に固めたから。 | 3. 鎌倉府の長官として軍事力を背景に、幕府の実権を将軍に代わって握ったから。 | 4. 自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父として権力を振るったから。 |
|--|--|---|--|
-
- 問15 平安時代中期、西暦1000年前後に執筆された『源氏物語』や『枕草子』などの文学作品が登場した背景にある、文字の歴史的な変化を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国から伝えられた漢字のみを用いて、当時の話し言葉をそのまま表記する手法が確立された。 | 2. 漢字を崩したり、その一部を抜き出したりして作られた「かな文字」が発明され、日常的に使われるようになった。 | 3. 朝廷が公用語としてハングルを採用したことで、女性による文学創作が容易になった。 | 4. 印刷技術の普及により、それまでの口承文学が急速に文字化されるようになった。 |
|--|---|--|--|